

---

## 地域づくりの方向に係る現状と課題⑧

---

### 8-1 伝統・文化と新たな息吹が融合する文化の風薫るまち

- 都市の風景や街並みを含めた多様な文化芸術を生みだす都市を目指します。地域の歴史や伝統文化等を再発見し、守り伝えるとともに、豊島区独自の新しい文化の創造に努めます。
- 文化に触れ、文化と共に発展するまちを目指します。

- (1) 文化によるまちづくりの推進
- (2) 文化芸術の振興
- (3) 生涯学習・生涯スポーツの推進

## 8-1 文化によるまちづくりの推進

### 【政策の概要】

文化は人の心を豊かにするとともに、新たな交流とにぎわいを生み出し、都市の魅力と活力の源泉となります。区内の各地域において、多様な主体による創造的な文化的活動が活発に行われるとともに、まちづくりや産業、福祉、教育、環境、青少年育成など諸分野の施策と結びついて、区全体が活力をもって発展することを目指します。

### 【施策の体系】

- ① 文化によるまちの活性化【重点施策】
- ② 新たな文化芸術の創出と創造環境の整備
- ③ 地域文化・伝統文化の継承と発展

### 【分野別計画】

文化政策推進プラン、教育ビジョン2010（教育振興基本計画）

### 【政策の進捗状況】

<p><b>現状・成果 ・課題</b></p>	<p>文化によるまちの活性化を図るため、フェスティバル/トーキョーや新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館など集客性の高い事業を行い、風物詩として定着してきた。地域への更なる浸透と拡大が課題である。郷土資料館は西部地域複合施設内に移転し、(仮称)芸術文化資料館として、郷土資料に加え、文学・マンガと美術分野の展示を行う準備を進めていたが、当面、整備が凍結されることになった。これまで進めてきた気運の醸成と収集・研究の継続が課題である。また、東池袋の旧鈴木家住宅の寄贈を受け、区有形文化財（建造物）に指定し、新たな地域文化資源とするための各種調査や建物修繕の設計を行ったが、前面道路が狭いことから、セットバックを含めた、活用についての検討が必要となっている。さらに国際アート・カルチャー都市のシンボルとして(仮称)豊島区新ホールの整備についても検討が進んでいる。</p> <p>区の重要な文化拠点である、あうるすぽっとにおいては、優れた舞台芸術の創造・発信、文化・芸術の担い手の育成など、新たな文化芸術の創出と創造環境の整備に合致した取組みがなされている。劇場規模と見合った上演作品の選定が課題である。また、文化庁の助成を受けるにあたっては、池袋を中心とした文化施設の連携にも前向きに取り組んでいるが、民間施設を含めた重層的な連携や区民への周知・参加については、なお改善の余地がある。</p> <p>文化財保護に関しては、普及・啓発事業と未刊行埋蔵文化財発掘調査報告書の解消に重点的に取り組んできた。NPOやとしま未来文化財団との共催事業の展開等により、普及啓発活動の成果は上がっており、未刊行報告書も、ほぼ刊行計画通りに進捗している。しかし、区の教育目標に文化財を用いた学習支援が盛り込まれたことで、学校教育との連携をいかに構築していくかが、今後の課題となっている。</p>
-----------------------------	--

<b>環境変化</b> (政策に影響を与えたもの、今後影響を与えるもの)	新庁舎完成に伴う、池袋駅周辺の人の流れの変化 現庁舎地周辺地区に整備予定の(仮称)豊島区新ホール 建設費の高騰等による、西部地域複合施設建設の(当面の)凍結 豊島区不燃化特区事業及び木密地域不燃化10年プロジェクトにおける特定整備路線整備事業に伴う、発掘調査件数の増加
<b>今後の方向性</b>	<p>文化創造都市、安全安心創造都市を包括する都市の将来像として「国際アート・カルチャー都市」を志向することになった。今後、全庁を挙げて都市像実現への具体的な方策が検討されるが、文化分野は率先して「クールジャパンのショーケース」として世界に誇れる文化都市を実現していかなければならない。</p> <p>特に、2020年のオリンピック開催に向け、急増する外国人訪問者に対応することは元より、スポーツと文化の融合というオリンピック精神を実現するためにも、文化プログラムを強力に推進し、「国際アート・カルチャー都市」として存在感を発揮しなければならない。</p> <p>一方で、引き続き、文学、マンガ、美術、郷土芸能など豊島区に残る貴重な郷土資料の収集、保存、活用をすすめ、次代に向けた、「文化創造環境整備」と「文化の継承と人材の育成」に取り組む。</p> <p>また、文化財の登録・指定のための調査研究と並行して、未刊行報告書の解消を進める。普及啓発事業については、一般区民ばかりでなく、学校と連携し、文化財を利用した学習支援の充実を図っていく。</p>

## 【成果指標】

<b>1</b>	<b>舞台芸術交流センター(あうるすぽっと)入場者数(単位:人)</b> 東池袋四丁目再開発ビル内に舞台芸術を中心に区民の交流と文化創造の拠点として平成19年度に開設した施設の入場者数
----------	---

現状値	目標 (27年度)	実績				
		22年度	23年度	24年度	25年度	達成率 (対目標)
122,959	123,000	123,658	136,784	125,192	123,722	100.6%
21年度末						

<b>2</b>	<b>歴史的文化財や文化資源が保存・活用されていると考える区民の割合(単位:%)</b> 「協働のまちづくりに関する区民意識調査(平成22年6月実施)」の割合
----------	--

現状値	目標 (27年度)	実績				
		22年度	23年度	24年度	25年度	達成率 (対目標)
25.9%	↗	25.9%	-	-	29.0%	-
22年度						

## 8-2 文化芸術の振興

### 【政策の概要】

区民が日頃から文化芸術に親しみ、楽しむ土壌づくりを進め、文化芸術を活発化し、文化の風薫るまちを目指します。

文化芸術の担い手である区民の主体性を尊重しつつ、活動の意欲の向上や交流を支えるとともに、より質の高い文化芸術創造活動への展開を目指します。

### 【施策の体系】

- ① 文化芸術鑑賞機会の充実
- ② 文化を支え、発展させる人材の育成【重点施策】

### 【政策の進捗状況】

<p><b>現状・成果 ・課題</b></p>	<p>としま未来文化財団との連携や事業移管により、豊島区テラヤマプロジェクトやとしま区民芸術祭、庁舎ロビーコンサートなど、多くの区民に身近で良質の文化芸術に触れることのできる機会を提供した。また、旧朝日中学校を活用した、にしすがも創造舎においては文化芸術創造支援事業として、子どもたちへのワークショップや地域に根ざした事業などを行うなど、地域との関わりも大切にしながら文化施策を展開している。しかし、利用施設の改修期間中の事業のあり方や学校改築による事業拠点の移転などが今後の課題となっている。</p> <p>また、人材育成に関しては、次世代文化の担い手である子どもに対するジュニア・アーツ・アカデミー事業や子どものための文化体験プログラムなどをとしま未来文化財団とともに展開している。これら文化事業の継続的な実施により、事業や活動が徐々に区民に浸透し、リピーターの増加や抽選が必要な事業なども着実に増えてきている。</p>
<p><b>環境変化</b> (政策に影響を与えたもの、今後影響を与えるもの)</p>	<p>老朽化する文化施設の改修・改築中の発表の場の確保と事業及び人員体制の見直し</p> <p>学校改築による、にしすがも創造舎の事業拠点移転中の事業のあり方及び支援方法</p>
<p><b>今後の方向性</b></p>	<p>演劇のまち池袋を発展させるためには若手の育成は不可欠であり、演劇祭の担う役割は大きい。池袋演劇祭に出たいと考える若手を増やすためにも演劇祭を盛り上げ、入場者数の増加につながる情報発信に取り組む。</p> <p>また、廃校施設の暫定活用についても、文化芸術の発信拠点として、その活動が少しずつ地域に根づいているところであり、拠点の一時移転に伴う事業規模の縮小など課題はあるものの、引き続き質の高い文化・芸術にふれる機会の提供に取り組む。</p>

## 【成果指標】

<b>1</b>	<b>池袋演劇祭の入場者数(単位:人)</b>					
	豊島区舞台芸術振興会が主催し、毎年9月に区内劇場を会場として開催する演劇祭(区は経費を助成)の入場者数。					

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				達成率 (対目標)
		22年度	23年度	24年度	25年度	
34,236 21年度末	58,000	28,546	22,392	26,921	38,716	66.8%

<b>2</b>	<b>文化芸術創造支援事業における創造活動件数(単位:件)</b>					
	区とNPO法人が展開している舞台芸術の稽古場提供や子供向けワークショップ、地域交流などの活動件数。					

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				達成率 (対目標)
		22年度	23年度	24年度	25年度	
146 21年度末	150	175	198	133	217	144.7%

## 8-3 生涯学習・生涯スポーツの推進

### 【政策の概要】

人々がさまざまな学習資源を生かし、生涯にわたっていつでも学習機会を選択して学ぶことができる環境を整備します。学んだ成果を地域に還元し、地域を担う人づくりや地域コミュニティの活性化を図るシステムの構築を目指します。

また、生涯を通して、だれでも、いつでも、どこでもスポーツに親しむことができる豊かな暮らしの実現に向け、区民やスポーツ団体等と連携し、スポーツに親しむ機会と場の提供に努めます。

### 【施策の体系】

- ① 生涯学習の環境整備
- ② 個の学びから社会的な学習活動への転換
- ③ スポーツ・レクリエーション活動の充実【重点施策】

### 【分野別計画】

生涯学習推進計画、スポーツ振興計画

### 【政策の進捗状況】

<b>現状・成果 ・課題</b>	<p>誰もが生涯学習活動に参加できるよう、多様な講座を実施するとともに、講師の紹介や生涯学習保育者の派遣等、様々な形で自主的活動の支援を行っている。また、としまコミュニティ大学事業においては、年間をとおして総合的に学ぶことで新しい活動のきっかけづくりを目指す「マナビト」（2年間の学年制）を開設した。</p> <p>施設面では、平成25年4月には南長崎スポーツセンターを新たに開設し、多くの利用者を集めている。地域文化創造館とスポーツ施設については、指定管理者制度の導入により、多様な講座・プログラムの提供と効率的な施設運営を行っている。また、施設予約システムを平成25年度から導入し、利用者の利便性を高めている。</p> <p>老朽化した施設については順次改修工事を行っているが、利用者のニーズに対応できているとは言い難く、また、工事期間中の利用者の活動場所の確保について課題が残る。</p>
<b>環境変化 (政策に影響 を与えたもの、 今後影響を与 えるもの)</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 少子高齢化（人口減少）</li><li>・ 健康づくりの観点からのスポーツ（介護予防）</li><li>・ 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催</li></ul>

<b>今後の方向性</b>	<p>今後も多様な生涯学習機会を提供していくとともに、各種講座の受講者の学びの継続性、区政の課題との連携、学びの成果が自己完結するのではなく地域社会に還元していくことなどを見据えた施策を展開していく必要がある。</p> <p>また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催により、今後スポーツへの関心は高まっていくと考えられるため、健康づくり・地域コミュニティの形成をふまえたスポーツ推進事業を展開していく。</p>
---------------	--

## 【成果指標】

<b>1</b>	<b>図書館登録者1人あたり貸し出し冊数(単位:冊)</b>
	区立図書館の登録者1人あたりの貸し出し冊数

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				達成率 (対目標)
		22年度	23年度	24年度	25年度	
17.8 21年度末	19.0	16.6	16.8	17.4	17.7	93.2%

<b>2</b>	<b>地域文化創造館利用団体登録数(単位:団体)</b>
	地域文化創造館利用団体として登録している団体数

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				達成率 (対目標)
		22年度	23年度	24年度	25年度	
649 21年度末	680	604	643	607	642	94.4%

<b>3</b>	<b>区民のスポーツ実施率(単位:%)</b>
	<p>区の「豊島区民の運動やスポーツに対する意識と活動の状況に関する調査」において週1回以上スポーツを行っていると答えた人の割合</p> <p>*平成13年度及び23年度に調査実施。24年度以降調査未実施のため数値なし。</p>

現状値 設定年度	目標 (27年度)	実績				達成率 (対目標)
		22年度	23年度	24年度	25年度	
34.0% 13年度	42.0%	-	50.2%	-	-	119.5%